

城山小学校 第879回 平和祈念式 令和6年11月11日

3年生による発表

【ピースナビゲーターへのスタート!】

ピースナビゲーターといえば、6年生! 3年生は、7月に6年生からのピースナビを受けました。6年生は城山小学校についてくわしく調べ、分かりやすく説明してくれました。また、10月には大分県の小学生に、11月には県外の大人の人にもピースナビをしたそうです。



ピースナビゲーターをする
6年生が、かっこいい!

6年生に、あこがれます!

ぼくたちも、6年生のよう
になりたい!

6年生のようなピースナビゲーターになるために、城山小学校のこと・平和のことをもっと知りたいたいと思い総合的な学習に取り組んでいます。

【カラスザンショウ】

1945年8月9日。原子爆弾によって、人間や動物だけでなく、植物も大変な被害にあいました。城山小学校の「カラスザンショウ」も皮がはがれ落ちて、今にも倒れそうでした。それを支えたのは「ムクの木」でした。ムクの木がカラスザンショウを支え、生き続ける姿は、見る人に勇気を与えました。今は、平和祈念館に展示されています。



【ふたごぐす】

平和坂の入り口にある「ふたごぐす」も、原子爆弾によって燃えてしまいました。でも、燃えた後に2つの新しい芽が出て、大きく成長し、今の姿になりました。高さは、約16m。幹の周りは、約2mあるりっぱな木です。



- ・ぼくは、この話を聞いて、「ささえあっていくことは大切だなあ。」と感じました。
- ・いつも、ぼくたちを見守ってくれているようで、安心します。
- ・ぼくは、ふたごぐすのようにたくましく生きていきたいと思いました。

この2つの木がぼくたちに教えてくれた「**支え合うことの大切さ**」と「**たくましく生きていくこと**」をむねに、これからも平和について学んでいきます。そして、たくさんの人たちに平和の大切さを伝えていきます。